

タンク建設進捗状況

2020年8月27日

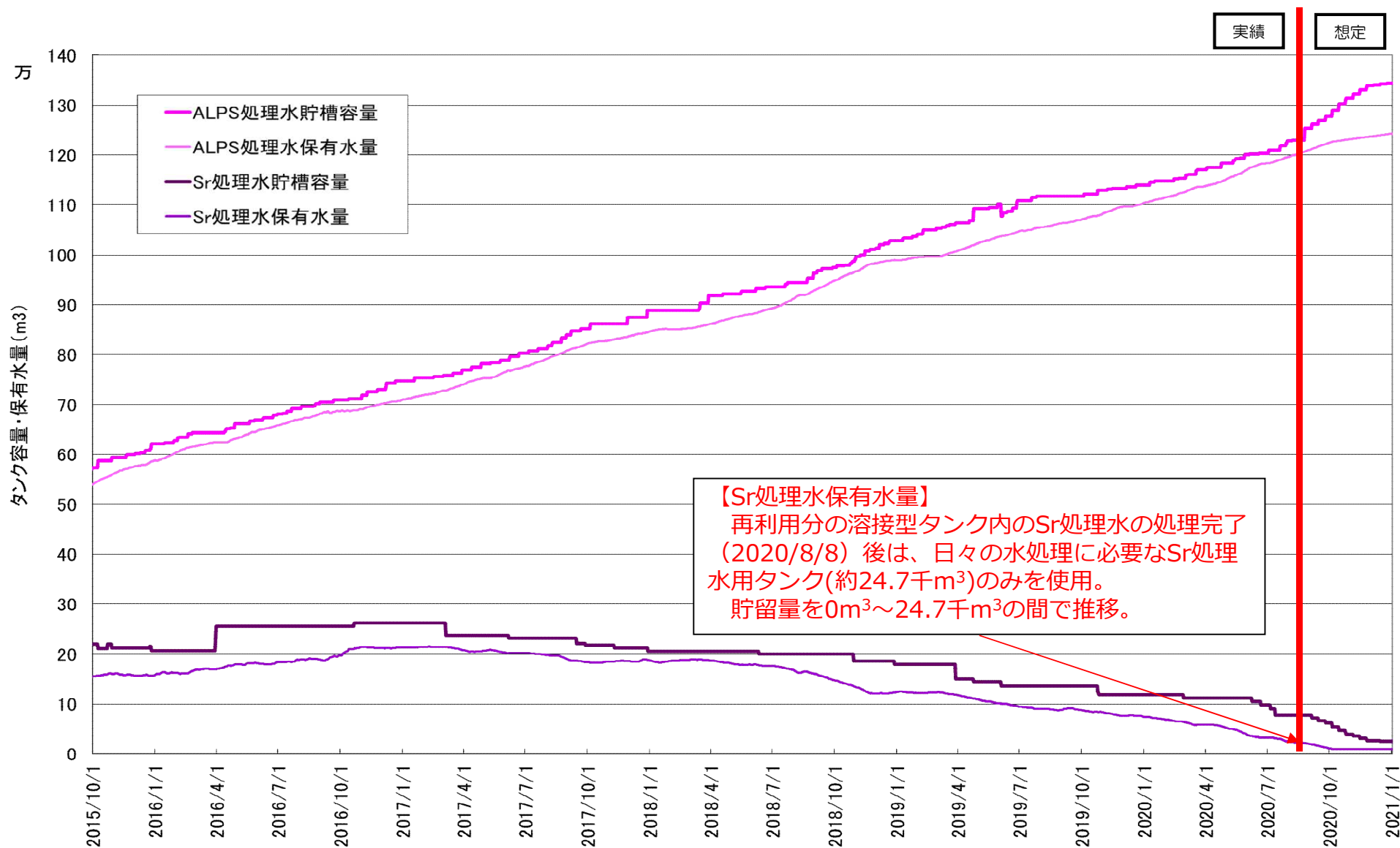
TEPCO

東京電力ホールディングス株式会社

1-1. タンク容量と貯留水量の実績と想定

水バランスシミュレーション（サブドレン他強化+陸側遮水壁の効果）

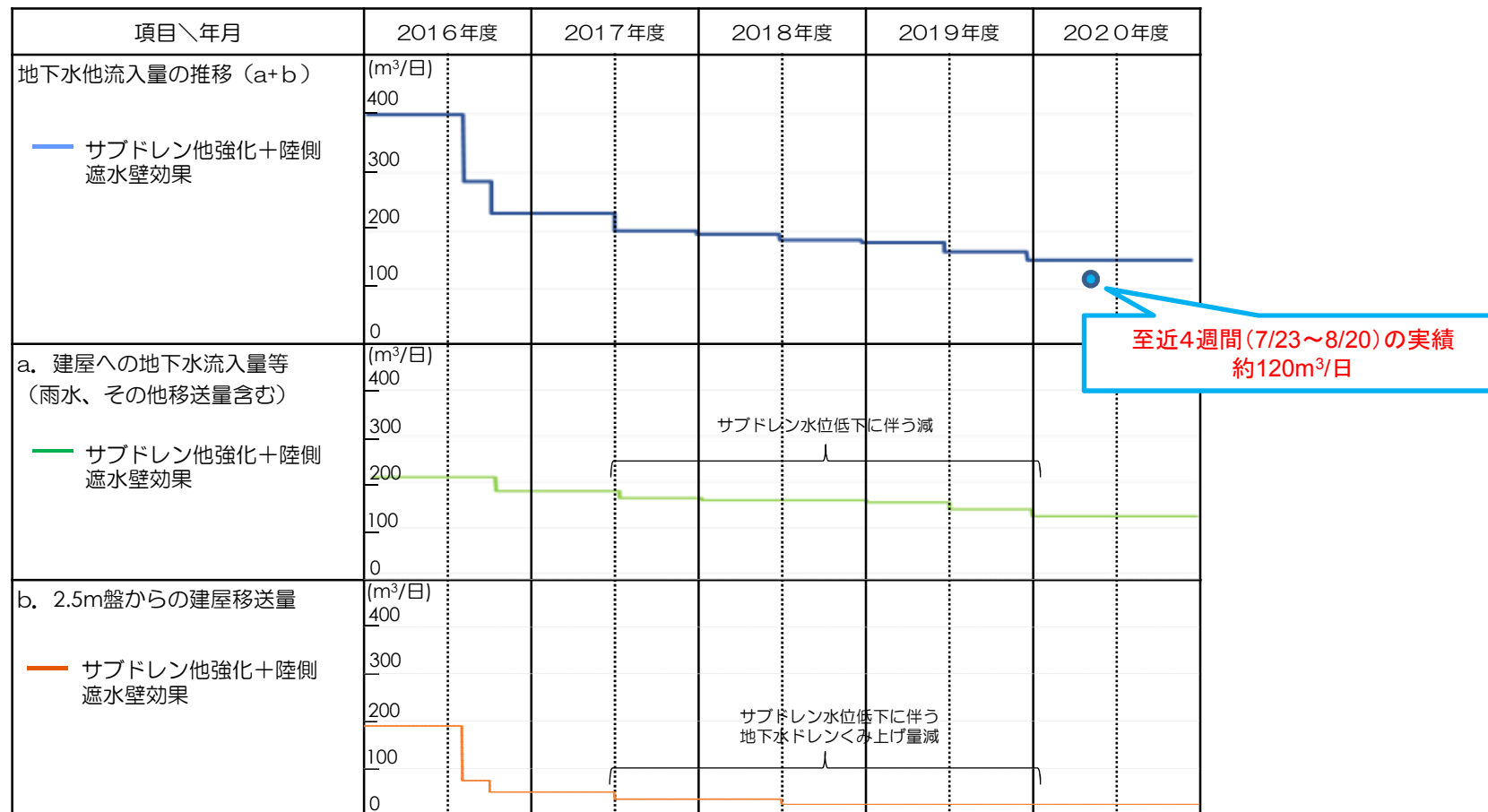
TEPCO



1-2. 貯留水量の想定に用いる地下水他流入量の想定条件と至近の実績

水バランスシミュレーションの前提条件

➤ サブドレン+陸側遮水壁の効果を見込んだケース



2-1. 溶接タンク建設状況

タンクリブレースによる溶接タンク建設容量の計画と実績は以下の通り（～2021年3月）

溶接タンクの月別建設計画と実績

下線は計画

単位：千m³

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計
2019	26.9	10.0	31.0	9.1	0	0	11.9	4.0	6.6	7.9	5.3	10.6	123.3
2020	13.2	10.6	2.7	11.9	<u>9.3</u>	<u>7.9</u>	<u>9.3</u>	<u>13.2</u>	<u>3.9</u>	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>82.0</u>

タンク容量の確保計画と実績（全体※1）

	計画 (2020.12.31時点)	実績※2 (2020.8.20時点)	タンク容量確保目標 約1050m ³ /日(約320m ³ /日※3) (2020/8/20～2020/12/31) [建設・再利用合計]
タンク総容量	約1,368千m ³	約1,228千m ³ (約1,325千m ³ ※3)	

※1：水位計0%以下の容量（約2.1千m³）及び日々の水処理に必要なSr処理水用タンク（約24.7千m³（既設置））を含む

※2：「福島第一原子力発電所における高濃度の放射性物質を含むたまり水の貯蔵及び処理の状況について（第465報）」にて計算

※3：Sr処理水用タンクからALPS処理水用タンクとして再利用する分（約97千m³（既設置））を含む

2-2. タンク進捗状況

1. タンク建設・解体関係

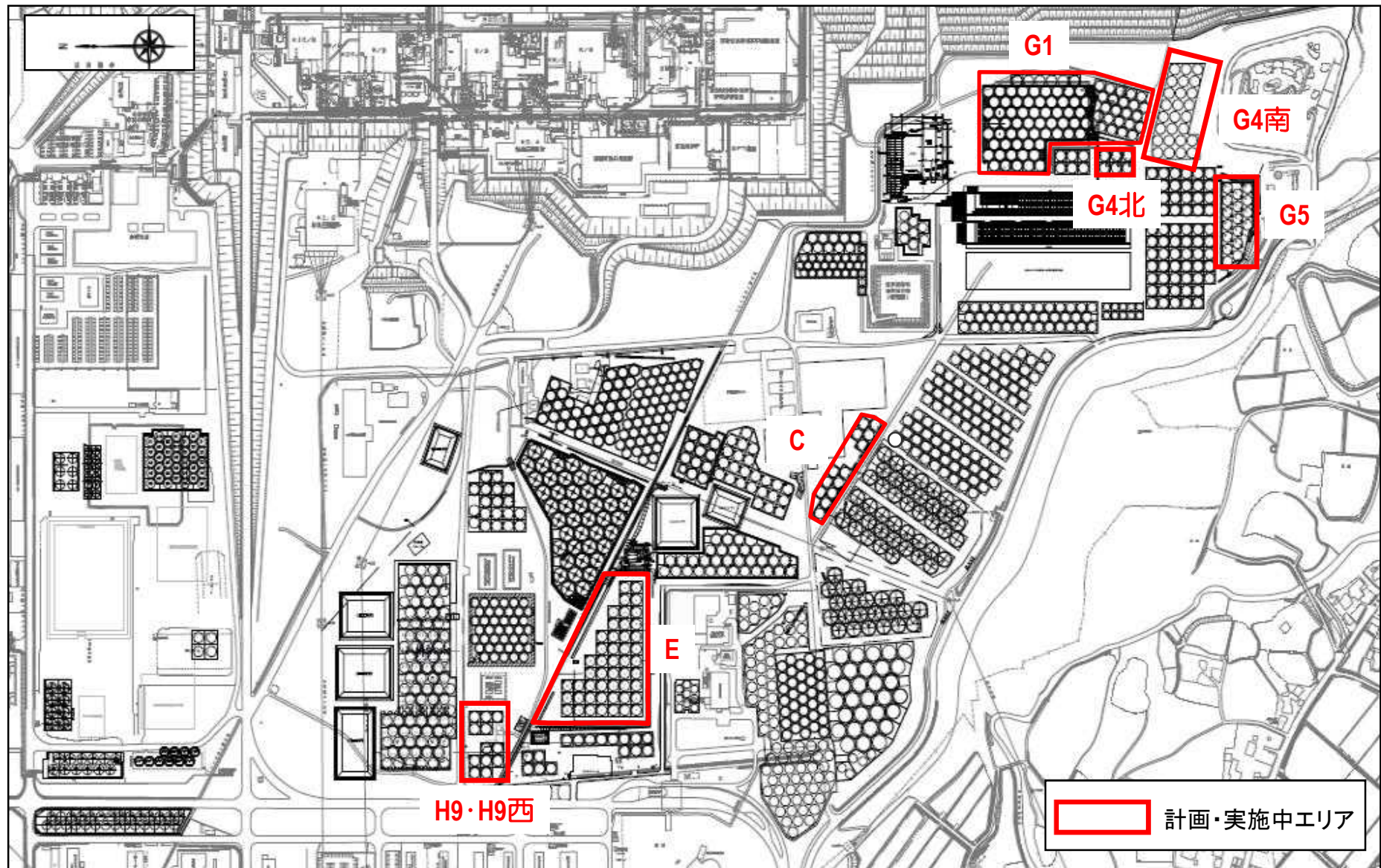
エリア	全体状況
C・E	C西：2019/10/27 フランジタンクの解体作業着手。 2020/4/27 フランジタンク解体・撤去完了。 C東：フランジタンクの解体作業中。 E：フランジタンクの解体作業中。
G1	2019/2/27 鋼製横置きタンク撤去完了。 2019/4/1 溶接タンク設置開始。 2020/2/3 基礎構築完了 タンク設置実施中。
G4南	2018/9/13 フランジタンクの解体作業着手。 2019/3/21 フランジタンク解体・撤去完了。 2019/12/1 溶接タンク設置開始 2020/3/4 基礎構築完了 タンク設置実施中。
G4北・G5	G4北：2020/5/14 フランジタンクの解体作業着手 2020/7/30 フランジタンク解体・撤去完了。 G5：2020/7/2 フランジタンクの解体作業着手

2. 実施計画申請関係

エリア	申請状況
H9・H9西	タンク解体分 2020/7/8 実施計画認可

【参考】タンクエリア図

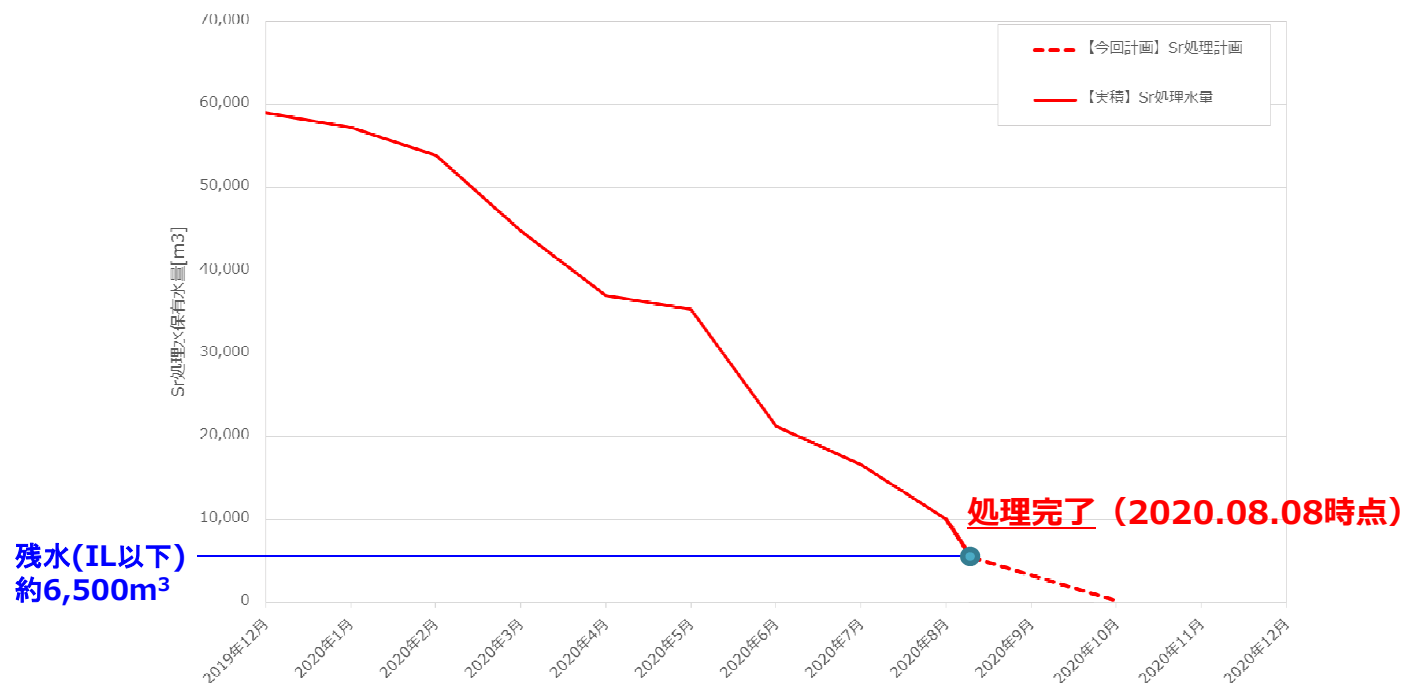
TEPCO



【参考】 Sr処理水処理完了以降の対応

- ポンプインターロック（ポンプ自動停止）以下の残水 約6,500m³を除きSr処理水の処理を2020年8月8日に完了しました。

Sr処理水保有水量



- Sr処理水の処理が完了した事から、『多核種除去設備等処理水の取扱いに関する小委員会報告書を受けた当社の検討素案について』（2020.3.24当社公表）で示した高濃度のALPS処理水（告示濃度比総和100以上）の二次処理の性能確認（約2,000m³処理）を2020.9以降着手し、ALPSによってトリチウムを除き告示濃度比総和1未満が達成できることを検証する。（2021.1頃に分析・評価が終了する予定）
- 二次処理後のALPS処理水は、新設タンクに受け入れ。

福島第一原子力発電所 溶接型タンクに貯留している ストロンチウム処理水の処理完了について

< 参 考 資 料 >
2020年8月11日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

- フランジ型タンクに貯留しているストロンチウム処理水（以下、「Sr処理水」） および多核種除去設備等処理水（以下、「ALPS処理水」）については、より信頼性の高い溶接型タンクへの移送が完了し、中長期ロードマップにおけるマイルストーン「2018年度内に浄化設備等により浄化処理した水の貯水を全て溶接型タンクで実施」を達成しています。

<[2019年3月27日お知らせ済み](#)>

- 溶接型タンクに貯留しているSr処理水のうち、日々の水処理に必要な「運用タンク」以外の水（「貯留タンク」の水）については、漏えい時のリスクを考慮し、2019年12月より、多核種除去設備による処理を優先的に進め、2020年8月8日に処理が完了※¹しました。

※¹ ポンプインターロック水位以下の残水 約6,500m³を除く

- 引き続き、安全を最優先に、汚染水対策を進めてまいります。

<処理水タンク一覧>

対象			容量	ステータス
溶接型タンク	Sr処理水	運用タンク	約2.5万m ³	運用中
		貯留タンク※ ²	約9.7万m³	2020年8月8日 水抜き・処理完了
	ALPS処理水		約119.8万m ³ (2020.7.23時点※ ³)	貯留中

※² ALPS処理水タンクとして再利用予定（一部は再利用中）

※³ 再利用タンクは除く